

令和3年度第1回 南アルプス市まち・ひと・しごと創生審議会
議事録（要点筆記）

日 時 : 令和3年7月27日（火） 午後2時～2時50分

場 所 : 南アルプス市地域防災交流センター 2階 多目的ホール

<次第>

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

- ・第2期南アルプス市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について
- ・第2期アクションプラン記載事業等の令和2年度実績について

4 その他

5 閉 会

（司会）：これから令和3年度第1回 南アルプス市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会を開催いたします。委員の皆様には、お忙しい中ご参集いただき心より御礼申し上げます。事前に送付させていただいた資料1の次第に従い、審議会を進めさせていただきます。

まず、内田総合政策部長よりご挨拶を申し上げます。

1 開会（総合政策部 内田部長）

お忙しい中ご参集いただきありがとうございます。

本市のまち・ひと・しごと創生総合戦略につきましては、令和2年3月に策定され、令和6年度末までの5年間を計画期間としており、市民の皆様が市内で安心して働き、結婚し、出産・子育ての希望を叶えることができるよう、その具体的な取組を示したアクションプランに基づき、各種の事業を展開しております。本市の総合戦略は、国のまち・ひと・しごと創生総合戦略と、山梨県の総合計画に盛り込まれた目標を勘案し、4つの基本目標を掲げて取組を推進しておりますが、この度の新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う社会の変容に対応するため、国また県において総合戦略の改定が行われているところであります。このような中、本市においてもその状況を踏まえ、注視する中で今回総合戦略の内容を一部改定することとしたく、本日も説明をさせていただき、委員の皆様のご意見を賜りたいと思います。本日はよろしくお願い申し上げます。

（司会）：本審議会は26名の委員の皆様で構成されておりますが、昨年度から11名の方が異動等により変更となっております。委員をお引き受けいただきました皆様には心より御礼申し上げますとともに、本来であればお一人おひとりに市長から委嘱状を直接お渡しすべきところでございますが、コロナ禍に伴い、まず11名の方におかれましては事前に委嘱状をお送りさせていただいたところでございます。ご理解いただけますようお願い申し上げます。

委員各位のご紹介につきましては、事前にお配りした審議会の資料2の名簿の中で肩書とお名前をご紹介させていただいており、この内容で今回は恐れ入りますがご紹介とさせていただきます。

また、委員各位の現在の任期は令和3年7月31日までとなっております。本審議会後に任期満了を迎えることとなりますが、委員の皆様には今後も継続して、本市のまち・ひと・しごと創生総合戦略の推進のため、引き続き審議会委員としてお力添えをいただけますようお願い申し上げます。是非ご理解とご協力をお願いいたします。新たな委嘱期間となる令和3年8月1日から令和5年7月31日までの委嘱につきましては、本日の審議会終了後、この席上において委嘱状をお配りさせていただきますので、ご承諾いただけますようお願い申し上げます。

続きまして、本審議会の塩谷会長よりご挨拶をいただきます。

2 会長あいさつ（塩谷会長）

皆様こんにちは。足下の悪い中本当にご苦労様でございます。

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、住みよい地域づくりをする、新しいひとの流れをつくる、それから仕事を連れて来て、この地域が活性化できるような良いまちをつくるということで、全国各市町村が知恵を絞り合って、この総合戦略に取り組んでいるところであります。新型コロナウイルスが蔓延し、新しい社会へ変わりつつあるのではないかと考えています。お手元に配布されている6月16日の山梨日日新聞の記事のとおり、国でも新型コロナウイルスの感染拡大により、今までの分野とは違ったデジタル化、脱炭素社会といった新しい案を導入することが決まったようであります。今日はその辺も含め事務局から説明があるかと思いますが、是非とも良い会議となるよう積極的な意見交換をよろしくお願いします。本日は本当にご苦労様でございます。

（司会）：ありがとうございました。

続いて議事に入ります。議事の進行は塩谷会長に議長をお願いいたします。

3 議事（議長：塩谷会長）

本日の議事は2点あります。第1点目の「第2期南アルプス市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について」、事務局の説明を求めます。

（事務局）：

- ・資料3 「第2期南アルプス市まち・ひと・しごと創生総合戦略」改定の概要
- ・資料4 第2期南アルプス市まち・ひと・しごと創生総合戦略（改定案）
- ・資料5 第2期アクションプラン記載事業一覧（改定案）
- ・資料6 第2期アクションプラン（個別施策工程表）（改定案）

に基づき説明。

【質疑応答】

（議長）：前回の会議で、新型コロナウイルスの影響の部分を入れなければならないと意見を言いましたが、県も総合計画を改定し、それに倣って改定案が示されているところです。

（A委員）：資料3「その他」の、総合戦略の基本目標の「新しいひとの流れをつくる」ということについては、非常に大事な視点ということで、市の方にも申し上げてきたことが今回このような形でしっかりと支援策に含められた形で追加され、非常に良いと思います。特に若い人たちのIターン、Uターンといった支援も今後厚くして欲しいと思

います。

(議長) : 貴重な参考意見をいただき、ありがとうございました。

次に「第2期アクションプラン記載事業等の実績について」、事務局の説明を求めます。

(事務局) :

- ・資料7 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標 (KPI) 一覧
- ・資料8 第2期アクションプラン記載事業一覧 (令和2年度実績)

に基づき説明。

【質疑応答】

(B委員) : アクションプランについては高く評価しているが、まず1つ目の「地域産業の振興」の中の農業関係、JAの関係の売り上げが落ちているということについては面積が大分減り、開発で農地が減っていることも事実であります。耕作放棄地も増えており、この対策について指針が欲しいと思います。担い手支援として地域おこし協力隊がありますが、その方々の中のどれだけの方が、この地で農業を営む方向付けができたかの実績をきちんと把握して欲しいと思います。労働力確保の点からも、いわゆる家族内労働で農業をしている方の足りない部分を補っていただきたく、それに対する市の姿勢としても何か違うプランを考えていただきたいと思います。

もう一つ大事なことで、こうしたアクションプランの内容を全く知らない人もおり、周知する方策が必要です。第1次の際は子育ての施策が多かったが、これを知らない人がいて、広報で特集を組んでもらった時もあります。ホームページもリニューアルしているようですが、きちんと市民に対し、定住人口を増やすのであれば県外の人に対しても訴える方策を持っていただきたいと思います。

(事務局) : 荒廃農地が増えていることや担い手確保の部分は、先般の6月議会でも課題として取り上げていただき、市としても取り組んでいかなければならないと考えております。地域おこし協力隊に関しては、3年間終わった後卒業してってしまう流れが多かったですが、昨年度については6人の方が残っていただいているという明るい兆しもあり、取組を継続していきたいと思います。就農支援等に関しても、現在、来年度に向けた新規事業等の提案を各部局から受け付けていますが、まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進という観点からも効果を確認する中で採択していきたいと思います。

また、南アルプス市の良い所がなかなか知られていないということはこれまでも言われており、それがシティプロモーションの推進に繋がっているところです。元々第1期の戦略でも、市の魅力や地域文化、市がどういう財政状況にあるか、子育て支援がどれだけ充実されているかということがなかなか分かっていたいただけないという所があ

り、上手な発信、今までとは違った発信をしていかなければならないということが反省点としてあります。シティプロモーションは現在市民ワーキングを行っており、効果的な発信という部分をしっかり練っていかなければと思っております。南アルプスの良い所を県内外にしっかり発信していくという方向性で庁内一体となって動いておりますので、ご理解いただきたいと思います。

(会長) : その他ご意見がなければ、皆様の厚いご協力に感謝して本日の審議会の議事を閉めさせていただきます。

(司会) : ありがとうございました。

次第の4「その他」として、委員の皆様から何かございますか。

(C委員) : 今回のまち・ひと・しごと創生総合戦略の改定された基本目標の部分で、国と県に合わせてデジタル化という部分は大切なことだと思います。だが反対に、去年コロナになった時に、子育て支援の現場では、首都圏、関西圏などは全ていろいろなものがシャットアウトされて孤立化し、何とか工夫してデジタルならコンタクトが取れるだろうということがありました。山梨ではシャットアウトがなく、何かしら小さい形でも人と人との繋がりが確保できました。地方だからこそ人と人との関わりの温かさということができたので、それも一つの魅力になると思います。私共が利用者さんにアンケートを取ったところ、人と会えないことが一番辛かったという意見がありました。デジタルだと話をしてもタイミング的に難しく、小さいお子さんがいる方は顔が映ったりすることを嫌がることもあります。今の世の中ではインクルーシブということがよく言われており、多様性のある南アルプス市にしていただけると良いのではないかと思います。当たり前なのが首都圏にはないということを皆で確認し、それを売りにしても良いのではないかと感じました。

(事務局) : 貴重なご意見をありがとうございます。

総合戦略の23ページにも「支え合いの地域づくりの推進」ということが記載されております。デジタルは便利だが無機質なところもあります。市役所の窓口もAIに取って代わられるということが言われていますが、市役所員は地域の人間なので、単に対応するだけでなく、皆さんのお声を聞いたり、共感できることも自治体職員が行う一つのメリットであると思います。南アルプス市が温かい町、子育てしやすい町ということが発信できれば、この戦略も意味を持つてくると思います。

(司会) : 以上をもちまして審議会を終了させていただきます。本日は誠にありがとうございました。